



社協はしま

発行所/社会福祉法人 羽島市社会福祉協議会

〒501-6255 羽島市福寿町浅平3丁目25番地 (福祉ふれあい会館内)
TEL 058-391-0631 FAX 058-391-0632



- 紹介 P2 ・新年のご挨拶 ほか
- 紹介 P3 ・災害に備えを！
- 紹介 P4 ・福祉協力校活動紹介
「Sクラブって、どんな部活動？ 岐阜県立羽島高等学校」
- 紹介 P5 ・羽島市で見つけた地域のお宝 ほか
- 案内 P6 ・フレイル(虚弱) 予防のために
(地域包括支援センター)
- 案内 P7 ・児童センターだより
- 募集
情報 P8 ・ふれあいインフォメーション

No.
232
2023.1.1
隔月発行

今回の表紙：みんなで楽しむ福笑い
(加賀野井ふれあいサロン)

新年のご挨拶



社会福祉法人 羽島市社会福祉協議会

会長 中 畑 弘

新年あけましておめでとございます。

皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は羽島市社会福祉協議会の活動に対し、多大なご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活や社会・経済活動において、未だ大きな影響が続く中、「人と人とのつながり」が薄れ、生活困窮や孤立等の様々な課題が顕在化しております。こうした状況の中でも、本協議会は、これまでに培ってきた地域における「つながり」や「支え合い」を大切にされた福祉のまちづくりを目指して、地域住民の皆様とともにコロナ禍に即した地域福祉活動に取り組んでおります。

また、昨年4月には「羽島市成年後見支援センター」を開設し、成年後見制度の利用促進等に努めているところでございます。

今後とも、様々な地域課題に対応するため、包括的な相談・支援体制の充実を図ってまいります。

最後に、皆様のより一層のご支援、ご協力と地域福祉活動への積極的な参加をお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

成年後見制度の理解と普及を目指して

～成年後見制度利用促進講演会を開催～



▲渡辺哲雄さんの話を聞く参加者

11月12日(土) 不二羽島文化センターで「成年後見制度利用促進講演会」を開催しました。

この講演会は、成年後見制度を正しく理解していただき、支援が必要な方へ適切な利用促進を図ることを目的に開催したもので、80人の参加がありました。

講師に、日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員などを務める渡辺哲雄さんをお招きし、「認知症になった波平Part 2～契約社会と成年後見制度～」と題して講演いただきました。「サザエさん」一家の物語を題材に、判断能力を失った波平さんを、成年後見制度ではどのように支援するのかなどについて、ユーモアを交えて話されました。

参加者からは、「制度を活用する際はよく調べる必要があると感じた」、「実際に後見人をされている方の話も聞きたい」などの感想がありました。

災害に備えを!



～自分を守るためにすべきこと～

災害が発生したときに、自分自身や家族の命を守ることを「自助」、近所や地域の人が協力して助け合うことを「共助」、市町村や消防、警察、自衛隊といった公的機関による救助・援助を「公助」といいます。

被害を最小限に抑えるためには、3つの連携が重要になってきます。今回はその中で自分自身の身を守る「自助」の取り組みについて紹介します。

自助の取り組みの一例

① 非常持出品や備蓄品の準備

- 飲料水と非常食（最低3日分）、常用薬や衣類などの日用品、衛生用品、災害用簡易トイレ、懐中電灯、携帯電話の充電器などを準備する。



② 避難経路・避難所の確認

- 自分の住む地域のハザードマップや被害想定を確認し、避難所への経路を実際に歩いてみる。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、市指定の避難所だけでなく、安全な親戚や知人宅などへの非難も考えておく。



③ 家具の転倒防止

- 扉をふさがないように家具の配置に気をつける。
- ストッパーやL字型金具などで固定をする。



④ 家族との連絡方法の確認

- 電話のほかに、災害用伝言ダイヤル（171）、災害用伝言板などにより安否確認できることを確認しておく。



災害が起きた時、落ち着いて行動するには日頃から備えをすることが大切です。

皆さん意識をして取り組んでいきましょう!

迅速に対応するために

災害ボランティアセンター 設置・運営訓練を実施

災害ボランティアセンターの役割は、被災地のいち早い復興を目指し、ボランティアによる支援が必要な被災者と、活動をした人とを橋渡しすることです。

羽島市社会福祉協議会では、毎年知識と経験を積み重ねて、万が一の時に迅速に対応できるように、「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を行っています。今回の訓練は、羽島市役所や羽島市防災研究会、羽島青年会議所の皆さんにもご参加いただき、ボランティアの受付から活動終了までの一連の流れや、役割分担に応じた手順等について確認しました。



▲機材の貸出訓練をする職員等



「Sクラブ」って、どんな部活動？

岐阜県立羽島高等学校



羽島高校には「Sクラブ」という部活動があります。皆さん、「Sクラブ」と聞いて、どんな部活動だろうと思われるかもしれませんか？



Sクラブの「S」には「ソーシャル」「サービス」「スクール」の三つの意味があり、地域や学校の様々な活動にボランティアとして参加する部活動です。

▶「Sクラブ」のメンバー
現在は3年生が引退し、2年生6人、1年生6人の合計12人で活動しています。歴史は古く、

平成5年度には「国際ソロプチミスト羽島」より認証を受け、以後29年間ご支援をいただいています。

外部講師をお招きして

Sクラブは毎週、月・火・金曜日の放課後を中心に活動を行っています。主な活動内容の一つに手話の講習会があり、毎月2回手話を学んでいます。



▲手話を習う生徒

少しずつ手話を理解し

て、簡単なコミュニケーションができるようになりました。今後、この講習会で身に付けた手話を何かの活動に活かせたらと考えています。

様々な施設での交流会

手話以外の部活動日には、保育園や障がい者施設での交流会の準備を行っています。代表的な活動の一つは、竹鼻保育園での園児達との交流会です。コロナ禍で会えない今は、保育園の先生からアドバイスをいただき、

手作りの「手回し駒」や「パッチンかえる」、昨年の7月には「塗り絵」や「マジックウニぼうず」をプレゼントしました。園児達はとても喜んで遊んでくれたようです。



▲輪ゴムの反動で跳ね上がる「パッチンかえる」

もう一つは、「日中活動支援センターたけはな」という障がい者施設を利用している方々との交流会です。利用している方や職員の方と共にレーザークラフトでキーホルダーを作ったり、昨年の12月にはステンシルで模様をつけたオリジナルのコレクションのコースターを作りました。

あいさつランドで1日の始まりを

毎月15日ごろに名鉄羽島市役所前駅で行われる「あいさつランドはしま」に参加しています。この活動にはバレー部や陸上部など羽島高校の他の部活動の生徒も参加しており、駅の改札口を出入りする方々に、元気な声で「おはようございます！」と挨拶をします。駅を利用される方々からも「おはよう」の言葉をいただくなど、皆さんの1日の始まりに活力を与えています。



▲駅前元気よくあいさつする生徒

他には、文化祭や懇談の期間に「赤い羽根共同募金運動」を行い、生徒や職員への募金協力の呼びかけや、新型コロナウイルス感染症対策ポスターを手作りし校内に掲示する活動を行っています。今後もボランティア活動を通して、地域の方々と交流し、羽島市の活性化に貢献できたらと思っています。

羽島市で見つけた 地域のお宝

地域には、自然発生的な人と人とのつながりや支え合いが存在しています。羽島市社会福祉協議会では、これを「**地域のお宝**」と呼んでいます。このお宝が持つ意味を考え、今のつながりを維持することの大切さを意識することで、地域の支え合いに位置づけることができます。

正木町須賀地区で発見！！ ～SUKAボギーズ～

毎週日曜日と水曜日、9時から11時までふれあいの里広場パターゴルフ場で活動をします。令和2年5月にスタートし、須賀地区にお住まいの方を対象とした説明会、回覧板や口コミでの呼びかけにより、現在メンバーは15人。毎回10人程度の参加があり、くじ引きでチームを作り、1コース18ホールを2周ります。

「3,000歩くらい歩く。いい運動になるよ」「毎週日曜日がほんとに楽しみ！！みんなと話して笑って、心が豊かになる」「運動不足を心配して誘ってもらった。最初は9ホールまでしか回れなかったけど、今では2周りできるようになった」など、みなさん笑顔でお話しされます。

夢は、将来、大会ができるくらいの人數までにメンバーが増えることです。



▲声援と歓声で盛り上がっています

須賀地区から会場まで距離がありますが、乗り合わせて来られている方もいます。意識しないで行われていると思いますが、素敵な支え合いです。また、活動日以外に、ひとり暮らしの方に「元気か?」と電話されている方もいます。これも素敵な見守りです。住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らすつながりや支え合いが、SUKAボギーズの活動を通してたくさん生まれています。



脳トレ

クロスワードパズル

1		2	3		4
					ツ
ト		5			
6	7		8	9	
10				11	
	12	13			
	14				ス

クロスワードを解いてアルファベットのマス
を順番に並べてできる言葉は何でしょう。
※答えは6ページの下にあります

【タテのカギ】

1. 今年もいっぱいもらえてうれしい。○ト○○○。
2. 食○○、物○○、睡眠○○。
人間には様々な○○がある。
3. トラから変わり今年の干支は○○○。
4. 病院へ治療に通うこと。
7. 冠婚葬祭の儀式典礼の際に着用するフォーマルスーツ。
9. 人の死亡または定められた年齢までの生存に対して、
一定の金額を支払うことを約束する○○○○保険。
13. ナマズをイメージした「たけちゃん・はなちゃん」は
地元の○○キャラ。

【ヨコのカギ】

1. 1月1日。あけましておめでとうございます。
5. ヨモギの葉をまぜてついた餅。○○餅。
6. 北海道の世界遺産登録地域、○○床。
8. 交通事故で○○○者が出た。
10. おでんの季節。たっぷりしみた○○根が食べたいな。
11. 忘年会シーズン。○○酒運転はやめよう。
12. 今日は特に冷え込んでいる。○○○並みの寒さ。
14. 介助式・自走式ク○○○ス。社協でお貸しします。



フレイル（虚弱）予防のために・・・

フレイルとは、高齢期に心身の機能が衰えた状態をいいます。健康な状態と介護が必要な状態の中間段階で、要介護になる危険が高いといわれています。

「積極的に社会参加」、「運動習慣をもつ」、「栄養価が高い食事をしっかりかんで食べる」をバランスよく実践していくことが大切です。

「積極的に社会参加」について取り上げてみます。

新型コロナウイルスの影響で長引く自粛生活の中でも、人との交流や助け合いは大切です。孤立・孤独は閉じこもりを招いてフレイルを進行させてしまいます。

はじめよう！「積極的に社会参加」

人とのつながり力をアップ

UP!

人とつながる心掛けが大切です

◎ もっと電話でつながろう

家族や友人に電話をかけ、日頃のちょっとしたことなど話をしてみましょう。直接、声が聞けるとほっとするものです。

◎ 手紙、メールやSNSを利用しましょう

手紙や絵手紙を書いてみましょう。直筆で気持ちを伝えるのもよいものです。

また、携帯電話（スマホ）やパソコンなどを使ってメールやSNSなどでメッセージや写真を送れば、いつでも家族や友人とつながることができます。

◎ 買い物や移動のついでに声をかけたり、挨拶をしましょう

ちょっとした挨拶や会話でも心が和みます。ご近所同士、互いに声をかけあい、支えあいましょう。

◎ 地域活動や趣味の活動を楽しみましょう

人とかかわる活動は心身の機能の維持・向上につながります。1日1回は外出するようにして、心と体を若々しく保ちましょう。



地域包括支援センターでは、高齢者のみなさんの介護、健康や福祉、医療に関するご相談を受け付けています。お気軽にお電話ください!!



羽島市地域包括支援センター
（高齢者総合相談センター）

☎394-2521

羽島市福祉ふれあい会館 1階



児童センター だより



あけましておめでとうございます
今年もよろしくお祈りします



児童センターおひなさま会

親子で楽しみましょう♪

- 【日 時】 2月2日(木) 10:30~11:30
- 【場 所】 児童センター アリーナ
- 【内 容】 みんなであそぼう・おひなさまクラフトなど
- 【対 象】 乳幼児と保護者
- 【定 員】 25組
- 【参加費】 無料
- 【申込期間】 1月4日(水) ~14日(土)
- 【申込方法】 開館時間内に、専用申込用紙に記入して児童センターの申込箱に入れてください。
定員以上の申し込みがあった場合は、公開抽選を行います。



はっぴーサロンコーナー

「1月・2月の行事予定」

- ★健康チェック(身長体重測定)
1月5日(木)・2月1日(水)
- ★みんなDeくらふと
~お城のフォトフレーム~
1月11日(水)・1月13日(金)
~バレンタインサプライズBOX~
2月8日(水)・2月10日(金)
- ★おもちゃ病院(おもちゃの修理をしています)
1月18日(水)・2月15日(水)
- ★お誕生日手形スクラップブック
(1月生まれ) 1月20日(金)
(2月生まれ) 2月3日(金)
- ★和!いいね
~節分~
1月24日(火)・1月31日(火)
~おひなさま~
2月7日(火)・2月9日(木)
- ★読みきかせ講座 かりんとうさんとあそびまSHOW
1月26日(木)・2月16日(木)

※時間は全て10:30~11:30
(おもちゃ病院は10:00~12:00)
※行事は全て予約制で、参加費は無料です。
(おもちゃ病院は部品代が必要な場合があります。)
※将来、子育て支援活動に携わりたい方も見学(体験)していただけます。お気軽にお問い合わせください。

あそびケーション

- 【日 時】 ① 2月4日(土) 14:00~15:00
② 3月4日(土) 14:00~15:00
- 【内 容】 ①おひなさまクラフト
②イースタークラフト
- 【対 象】 小学生以上 10名
- 【参加費】 無料
- 【予 約】 ① 1月10日(火) ~
② 2月7日(火) ~
定員になり次第締め切ります。

はしま子育て支援チームの活動

「子育て講座」

- 【日 時】 2月22日(水) 10:30~11:30
- 【場 所】 羽島市福祉ふれあい会館 2階
- 【講 師】 三神廣子先生

お問合せ: ☎090-3447-8082(馬場)
お気軽にご参加ください。

お申し込み・お問い合わせは

羽島市児童センター (羽島市福祉ふれあい会館4階)

☎ 391-1226 FAX 391-1622

e-mail : jidokan@hashima-shakyo.or.jp

インターネットURL <http://hashima-shakyo.or.jp/jidokan/>

休館日 : 毎週月曜日、第1・3日曜日、祝日

羽島市社会福祉協議会

職員募集



- ① 介護支援専門員（居宅介護支援事業所）
【正規職員 または 嘱託職員】
・介護支援専門員資格を有する人
- ② 支援員（児童発達支援事業所）
【常勤嘱託職員】
・保育士、教員、言語聴覚士、作業療法士のうちいずれかの資格または免許を有する人
【パート職員】
・発達支援に関心のある人（有資格者歓迎）
・週20時間程度勤務可能な人
- ③ 児童厚生員（児童センター）【常勤嘱託職員】
・社会福祉士資格、保育士資格または教員免許を有する人
・土日勤務可能な人（シフト制）

※①②③とも普通自動車運転免許 必須

◎申込方法等、詳細は本会ホームページまたは下記までお問い合わせください。

- ①ふれあい介護支援センター (☎ 394-4505)
- ②発達支援センター「発達教室もも」 (☎ 392-7550)
- ③児童センター (☎ 391-1226)



「もったいない」から「ありがとう」へ ～フードドライブ～



市内の複数の社会福祉法人等から食品を提供していただき、ありがとうございました。提供された食品は、食料支援が必要な方へ、フードバンク活動団体を通じてお届けします。



▶提供された食品



募集

介護サービス相談員

定期的に、高齢者福祉施設の入所者等の話を聞き、内容に応じて施設職員や社協事務局へ橋渡しをする相談員を募集します。

人員 若干名
任期 養成研修終了後2年間（更新あり）
活動回数 毎月1～2回程度（1回2～3時間）

応募資格 次のすべての要件を満たす人
①市内在住で70歳未満の人
②自家用車で活動可能な人
③平日に活動が可能な人
④介護サービス事業者と利害関係のない人
謝金 1時間1000円
応募締切 2月3日（金）
応募方法 専用申込書を本会へ提出してください。なお、申込書は本会ホームページからもダウンロードできます。
備考 後日、面接を行います。



羽島市福祉ふれあい会館 案内

- 4F 羽島市児童センター
- 3F 羽島市発達支援センター 発達教室もも・相談室もも
- 2F 地域福祉活動センター
- 1F 羽島市社会福祉協議会事務局
羽島市福祉ボランティアセンター
羽島市成年後見支援センター
羽島市地域包括支援センター
ふれあい介護支援センター

12月29日(木)～1月3日(火)
年末年始休業(全館)

◆本会への寄付
匿名2件
(10月16日から12月9日まで)

ありがとう！
あったかハート

